

2024年度 一般 国語

- 問 1 傍線部Aの「常套」、傍線部Bの「構え」、傍線部Eの「意匠」、傍線部Fの「あんばい」、傍線部Iの「口をはさまない」の本文中での意味に近いものをそれぞれア～オから一つ選んで記号で答えなさい。
- | | | | | |
|------------|--------|-----------|--------|---------------|
| ア 適切な処理 | ア 外観 | ア デザイン | ア 消去 | ア 意見を言わない |
| イ 理解の方法 | イ 構造 | イ モニュメンタル | イ 調味 | イ 説教をしない |
| A ウ 普通のやり方 | B ウ 規制 | E ウ 景観 | F ウ 調整 | I ウ 無条件には認めない |
| エ 了解の手段 | エ 事情 | エ 伝統 | エ 了解 | エ 意図を述べない |
| オ 当然の条件 | オ 想い | オ 調和 | オ 経験 | オ 合意しない |
- 問 2 傍線部Cの「個性」を、筆者はどのように定義しているか、本文中から探し出して書きなさい。(二十字以内)
- 問 3 傍線部Dの「あちら」、傍線部Gの「彼地」とはこのことか、傍線部Hの「そこ」とはなにか、本文中の語句を使って書きなさい。(五字以内)

- 問 4 傍線部Jの「その抑制ぶり」の意味として適切なものをア～オから一つ選んで記号で答えなさい。
- ア 新築する際に、京都では、バリやフィレンツェよりもかなり景観に対する規制が厳しくなってきた
 イ 新築する際に、京都では、景観規制に対する自由度をきわめて抑えるようになってきた
 ウ 新築する際に、京都では、景観規制を、安全上の理由からより厳格に守るように指導されるようになった
 エ 新築する際に、京都では、景観を保護するための規制がかつてよりもかなり緩和されるようになってきた
 オ 新築する際に、京都では、ロサンゼルスのようなビルの建築をまったく認めない方向になってきた
- 問 5 傍線部Kの「今でも京都とのへだたりは圧倒的である」理由を、ア～オから一つ選んで記号で答えなさい。
- ア 京都に比べて、ヨーロッパの都市では、建物の外観への規制がはるかに厳しいままである
 イ 京都に比べて、ヨーロッパの伝統的な都市では、建築委員会の図面審査を受ける必要がない
 ウ 京都に比べて、アメリカの都市には、てんでんばらばらなビルが集まっている
 エ 京都に比べて、ラスベガスには、建築家の表現の自由がかなり認められている
 オ 京都に比べて、バリやフィレンツェは、建築者側の意匠上の自由度がかなり高く認められている
- 問 6 傍線部Lの「デザイン上の対話をこころみている」は、傍線部Mの「気をつかい、挨拶しているのだろう」と、ほぼ同じことを言っているが、さらにそれと同じ意味を表現していると思われる箇所を本文中から探し出して、書きなさい。(二十五字以内)

2024年度 一般 国語 (解答)

- 解答
- 【一】
- 問 1 ①ばつぐん ②維持 ③ばくだい ④監督 ⑤しゅうにん ⑥別途 ⑦こうじゅつ ⑧報酬 ⑨こうぎょう ⑩軸足
- 問 2 対照的
- 問 3 ワイマール
- 問 4 理由
- 問 5 オラトリオ
- 問 6 a…イ b…ウ c…ア
- 問 7 a…イ b…ウ c…ア
- 問 8 ア…× イ…○ ウ…× エ…○
- 問 9 バツハ…オ ヘンデル…イ
- 【二】
- 問 1 イ
- 問 2 ウ
- 問 3 エ
- 問 4 ユニバソロジ
- 問 5 ウ
- 【三】
- 問 1 A…ウ B…ア E…ア F…ウ I…ア
- 問 2 全体のなかで自らをめたせようとする志
- 問 3 D…ヨーロッパ G…ヨーロッパ H…安全性
- 問 4 エ
- 問 5 ア
- 問 6 街並のなかにとけこむよう、個々の建物はつとめている

※訂正※
【三】の問4
正答は「イ」